

氏名	川俣 実	部署	作業療法学科	職名	教授
研究分野	発達障害、動作分析				
学位	学士(教育学)、児童学修士(児童学)				
学歴	1981年埼玉大学教育学部卒、1988年国立療養所犀潟病院附属リハビリテーション学院作業療法学科卒、2011年聖徳大学大学院 児童学研究科 博士前期課程卒				
経歴	1988年埼玉県立小児医療センター作業療法士、2000年埼玉県立大学非常勤講師、2006年～2019年3月まで埼玉県立大学作業療法学科准教授、2019年4月より同学科教授				
所属学会(役職)	日本感覚統合学会(教育指導部FD研修統括)、日本作業療法士協会、日本LD学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
2						
3						
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
2						
3						
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修 受講者における研修受講後の発達障害支援	共同	第53回日本作業療法学会 於:福岡市	関 小織○、倉林早紀、押野修司、田坂翔太、川俣 実	2019.9	
2						
3						
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	該当なし					
2						
3						
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
2						
3						
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	作業療法学概論		1	発達期における作業療法の目的、対象、関わりについて、配布資料、スライド及び治療用具等を示して説明した。		
2	作業療法運動学		7	運動の見方、体幹・骨盤・下肢の関節運動、姿勢・動作分析のにつて、資料配布、パワーポイントを用い講義した。		
3	発達期作業療法学		2	発達障害の知覚・認識、運動、社会心理の評価方法について講義をした。		
4	ヒューマンケア論		1	作業療法とヒューマンケアについて、自身の体験を語った。		

(2)演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	臨床作業療法演習		3	体の平衡反応の検査方法について演習を行い、OSCEの試験官監督及び再試験の試験監督を行った。
2	地域作業療法学演習		1	地域での発達障害の作業療法について、授業を行った。
3	作業療法ゼミナール		10	割り当てられた履修生3の卒業研究ゼミナールの指導をした。
4	発達期作業療法学特講	○	15	学外での作業療法に参加させ、担当児の作業療法の評価と関わり方について、担当児との関わりを例示し、学修を促した。

(3)実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習:期間 学内実習:コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	作業療法運動学実習		9	体幹・骨盤・下肢の骨、筋の名称、関節運動、姿勢・動作分析について、配布資料とパワーポイントの映像を利用して実習を行った。
2	作業分析学実習	○	17.5	人々の生活行為を評価するために用いられる動作分析、活動分析、対人交流分析、作業分析などの分析方法について、個人やグループ活動を通して実習を行った。
3	発達期作業療法学実習	○	22.5	保育所で1日の見学実習を計画した。また、1人の子どもグループで担当させ、子どもと関わりながら観察と面接をおこない発達の理解を深められるよう指導した。地域の小児の作業療法のニーズや現状を理解するために、外部講師による臨床で活躍する作業療法士等の実践を聴講する機会を設けた。
4	臨地実習 I -1(身体機能領域)		2020.2~2020.3	実習中、実習地への中間訪問指導を行った(3施設)。実習不振の学生に対して、学生と実習指導者と連絡調整を行った
5	臨地実習 I -3(地域領域)		2020.2~2020.3	実習中、実習地への状況確認を行った(6施設)。実習後の振り返り面接を数名の学生に実施した
6	臨地実習 II -1(身体機能領域)		2019.4~2019.7	実習中、実習地への中間訪問指導を行った(4施設)
7	臨地実習 II -2(精神機能領域)		2019.4~2019.7	実習中、実習地への中間訪問指導を行った(2施設)、学生症例発表の評価を行った
8	IPW実習	○	2019.8~2019.10	主任科目責任者として、科目運営全般の計画と実施を行った。

(4)論文指導						
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数			
1	卒業研究	2019.4~2020.3	主指導	6名	副指導	0名
2			主指導(指導教員)	名	副指導(指導補助教員)	名
3			主指導(指導教員)	名	副指導(指導補助教員)	名

(5)その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	臨床医学 I (作業療法学)	2019.12~2020.1	国立障害者リハビリテーションセンター言語聴覚士養成課程 の講義	

#### 4. 社会貢献活動

(1)講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	感覚統合療法認定講習会	日本感覚統合学会	姿勢・平衡機能と触覚識別、 JAPANのスコアリング	2019.8
2	地域連携講座	埼玉県	発達障害への対応について 作業療法士の立場から	2019.7
3	発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修	埼玉県	スムーズな体の使い方を育む関わり方を知る	2019.9
4	法人 定期 研修会	特定非営利活動法人 あかり	感覚統合について	2019.9
5	地域産学 特定講座	埼玉県立大学 地域産学連携センター	身体を使った遊びの話	2019.11
6	各種相談	埼玉県立大学 地域産学連携センター	出張！ 育児相談会 ～作業療法士による～ 研修会等を5回開催した。	2019.5 ~2020.2

(2)国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	特定非営利活動法人 誠会	第三者委員	2019.4～2020.3	
2	埼玉県作業療法士会	幹事	2019.4～2020.3	
3	埼玉県作業療法士会	機関誌編集部員、学会演題査読委員	2019.4～2020.3	
4	日本感覚統合学会	研究大会 演題査読者	2019.6～2019.7	
5	日本発達障害ネットワーク	理事	2019.6～2019.3	
(3)ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
2				
3				
(4)その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
2				
3				
5. 学内運営				
	項目		内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等		教務委員	2019.4～2020.3
2	学科等における委員会等		学科内教務担当	2019.4～2020.3
3	学科等における委員会等		臨地実習総括	2019.4～2020.3
4	学科等における委員会等		副学科長	2019.4～2020.3
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名		主催	受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名		特許番号	登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	臨床実習指導者講習会 修了(第O-20191101004号)			